

芦別消防団員を募集しています

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。

年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば、性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リ-

ダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の捜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106



★市長だより★

55

長引くコロナ禍、市民皆様には日々感染予防対策にご尽力、ご協力をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

北海道のまん延防止等重点措置が3月6日まで延長された中で、本市におきましては、1月9日の週から2月19日までの6週間に、昨年15人を上回る18人の感染者が確認される等から、人の流れを抑え、接触の機会を低減し、感染拡大防止を図るため、市の公共施設の原則休館を続けており（3月6日まで）、市民の皆様には大変ご不便をおかけし、心苦しく思うところではありますが、皆様の健康と安全を守り、この厳しい難局を乗り切るため今一度、マスクの着用や手指消毒、換気など基本的な感染防止対策にご協力をお願いいたします。

なお、図書館につきましては、利用者のかたがたからのご要望等を踏まえ、現在、短時間の滞在等を原則に、市民限定での本の貸し出し業務のみの開館を行っておりますので、ご利用いただきたいと思っております。

先月、札幌のプロのアンサンブルグループNPO法人 奏楽（そら）（岩崎弘昌理事長）様からコロナ禍で音楽の授業や校歌を歌う機会が少なくなってきたいる子ども達のために取り組まれている



2月21日から運用開始となりました芦別消防第三分団（新城地区）の新消防車が同18日に納車され、車両の視察を行いました。

10日から定例市議会が開会されます。令和4年度の市政執行方針や各会計予

りです。芦別出身でソプラノ歌手のかたの歌唱も収録されており、貴重なご縁を感じるのと同時に、この演奏を通じて子ども達もふるさとの思いや音楽の素晴らしさを感じ、母校のシンボルでもある「校歌」を歌い継いでいただけるものと期待しております。

「校歌プロジェクト」として、市内小中学校及び芦別高校の校歌を演奏され収録された貴重なCDとDVD全員分の寄贈をいただき、また、日頃から子ども達の健全育成活動にも積極的に取り組まれておられ、心からの敬意と感謝の意を表させていただきます。



算等について審議をいただきますが、市政運営にあたりましては、アフターコロナを見据えながら、さまざまな課題にしっかりと向き合い、国や道とも連携し、市にとって、市民皆様にとって優先すべきものを精査し、前進させていくうえでも、市民並びに議員の皆様とともに考え、対話等を通じながら、すべての面で、「市や市民のため（有益）になるか」の視点をもって取り組んでまいりたいと考えております。

同時に、本市が有する有形、無形の地域資源を有効活用し、地場産業の活性化や、サテライトオフィスなどを含めた企業誘致、合宿の里事業の推進やふるさと納税事業等の推進による交流人口、関係人口の拡大とともに、子ども子育て支援のレベルアップ、高等教育機関の魅力アップのための支援、高齢のかたや障害のあるかたが健康で、自立して暮らしやすいまちづくりを標榜しつつ、誰もが「住みやすく、働きやすく、学びやすく、子育てしやすく」、「訪れてみたい」と実感いただける芦別づくりと、さらなる本市の発展に力を尽くす所存です。

春の訪れが待ち遠しい季節となりましたが、季節の変わり目からも、市民皆様には体調管理等一層のご自愛のほどお祈りいたします。

（2月21日記）

芦別市長 荻原 貢